

## 食と音楽でつくる楽しい時間

### 今福地域で昼食会と音楽祭が開催

今福地区社会福祉協議会と今福公民館の共催による「一人暮らしのお年寄り・高齢者との昼食会と今福町民音楽祭」が2月18日、東部交流センターで行われました。

昼食会には、今福地域に住む70歳以上の一人暮らしのお年寄りと80歳以上のお年寄りの約150人が招待され、参加者たちは準備されたお弁当を味わいながら、友人たちのおしゃべりを楽しみました。

また、町民音楽祭では地元子どもたちや文化団体が歌や踊り、楽器演奏などを披露。観覧したお年寄りたちは、地域の皆さんと一緒に楽しい時間を過ごしました。



## 百歳の誕生日をお祝い

### 氏山トモさん

氏山トモさん（御厨・寺ノ尾中）が2月20日、100歳の誕生日を迎えました。

氏山さんは大正4年生まれ。農家に嫁ぎ、米や野菜などを作っていました。6人の子どもの恵まれ、今では17人の孫と31人のひ孫がいらっしやいます。手芸が得意で、バッグなども作っていたそうです。

この日は入院中の田中病院で、友広市長からお祝いの言葉や花束を受け取りました。



## まちの話題

Matsuura City Topics

## 美しい桜の里へ

### あなたの桜を植えようかい

今福地域活性化協議会（渡口一憲会長）が主催する「あなたの桜を植えようかい」が2月15日、今福町の四季の森石倉で開催されました。

同会が今福町の活性化のために、ながさき森林環境税事業を利用し、400本の桜の苗木を植えて美しい桜の里にしようと実施されました。

この日集まった約200人の参加者は、桜の苗木1本1本を愛情込めて丁寧に植樹しました。



## 地域の文化発信

### 文化公演

松浦市文化協会主催（福本正樹会長）による文化公演が2月15日、東部交流センターで開催されました。

この日は、各地区で活動している松浦・福島・鷹島の文化団体が一堂に会し、よさこいやフラダンス、日本舞踊、和太鼓などを披露しました。

会場を訪れた約200人は、それぞれの発表を熱心に鑑賞し、大きな拍手を送っていました。





## 市の花「ツバキ」に親しもう！

### 福島つばき祭り

第42回福島つばき祭り（松浦福島つばき会主催）が2月28日と3月1日の両日、福島武道館と武道館前お祭り広場で開催され、市の花「ツバキ」をPRしました。

会場では、ツバキの盆栽や鉢物の展示、ツバキの花苗販売と園芸指導、ツバキを題材とした小中学生の絵画展、特産物の販売などが行われ、来場した人たちは興味深く展示物を眺めたり、地元の特産品を買い求めたりしていました。



## 地域の介護を支えるために

### 日本財団福祉車両助成事業

公益財団法人日本財団から社会福祉法人和光福祉会海光園へ訪問介護用の車両が贈呈され、海光園で3月5日、お披露目式が行われました。

これは日本財団が障害者や高齢者の地域生活を応援するために福祉車両の配備事業を実施しているもので、海光園は今回初めて助成金決定を受け、車両が寄贈されました。

海光園の大内康史理事長は、「今回の寄贈は大変ありがたい。地域の福祉により一層貢献していきたい」と話しました。



## 地域のためにできること

### 中学生の地域貢献活動

市内の中学校が共同で実施している福祉用具の贈呈式が2月20日、志佐町の「グループホームひなたぼっこ」で行われ、同施設へ介護用車椅子と補助用すりすり各1台が寄贈されました。

中学校では毎年、アルミ缶の回収事業に取り組んでおり、地域貢献の一環としてその収益金を福祉用具の購入などに役立てています。

この日は、中学校を代表して志佐・御厨・調川・今福中学校の生徒6人が施設を訪れ、活動の成果を紹介し、施設の職員と利用者へ福祉用具を手渡しました。

調川中学校生徒会長の久家麗奈さんは、「今の活動を継続し、地域に貢献していきたい」と取り組みへの思いを話しました。



## 火災のない地域をつくろう

### 少年消防クラブ合同研修会

平成26年度松浦市少年消防クラブ合同研修会が2月28日、松浦市消防本部で開催されました。

市内では、防火思想の普及と啓発を目的に8つの少年消防クラブが活動しており、研修会には約30人の子どもたちが参加しました。

消防本部職員の指導を受けながら避難や通報、消火訓練を行うなど火災時の初期対応について学びました。

また、救急現場のシミュレーションでは、緊迫感のある救急活動の様子に興味深く見学していました。

